

ふちゅう

町議会だより

第170号

令和5年8月
広島県府中町議会

伝統を受け継ぐ ～山田十二神祇～ (関連記事14p)

6月定例会・5月臨時会

東小校舎・屋内運動場を改修 ほか	2～3
16人が町政を問う 一般質問	4～12
常任委員会レポート・行政視察報告	12～13
他議会からの行政視察	14

YouTubeで公開中！



定例会の録画映像を
配信しています。

府中町議会【公式】

検索

※視聴環境により、通信料がかかる場合があります。

東小校舎・屋内運動場を改修

6月定例会

令和5年第3回定例会を6月23日から27日までの5日間の会期で開催しました。
初日は町長報告を受けた後、一般会計補正予算をはじめとする町提出議案7件を審議し、すべて全会一致で原案どおり可決しました。
26日からは一般質問を行い、27日は一般質問に引き続き、議員提出議案2件を原案のとおり可決しました。

東小 外壁を全面改修

府中東小学校の建物の長寿命化を図るため、外壁改修を実施します。

あわせて、普通教室棟の屋上と屋内運動場屋根の防水改修、アリーナ床改修を実施します。

【契約金額】1億5400万円

【工期】令和5年6月末から令和6年3月29日まで。



一般会計 補正予算

主な事業

一万円未満を四捨五入しています。

新型コロナウイルス接種体制の確保

1億4485万円

令和5年度ワクチン接種は、5月開始の65歳以上の人などを対象とした春接種と、9月開始の秋接種がありま。秋接種は1・2回目の接種が終了し、最終接種日から3カ月以上経過した5歳以上の人が対象で、接種券は8月以降に順次送付予定です。

町内施設への原油価格・物価高騰対策支援金

高齢者福祉施設 3520万円

障害者福祉施設 685万円

保育施設 479万円

令和4年度に引き続き、原油価格・物価高騰の影響を受ける町内の各施設（高齢者福祉施設44施設、障害者福祉施設32施設、保育施設16施設）に対して支援金を給付します。

給食食材の価格高騰対策

小中学校 1739万円

町内保育所等 1114万円

昨今の物価高騰に対応し、保護者の負担が増加することなく、安定的な給食を実施するため、町内小中学校7校の給食食材の増額分を公費から支出します。また、町内保育所等12施設に対して補助金を給付します。

歴史民俗資料館の解体

榎川沿いにある、旧歴史民俗資料館（昭和29年建設）の解体を実施します。

河川が増水しやすい10月頃までは内外装や設備の撤去等を行い、本格的な解体工事は、10月20日以降に実施します。

【契約金額】5489万円

【工期】令和5年6月末から令和6年3月29日まで。



6月定例会 採決結果

◆全会一致で可決した議案

町長提出議案
令和5年度府中町一般会計補正予算（第3号）
府中町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について
府中町税条例の一部改正について
府中町老人ホーム入所判定委員会設置条例の制定について
府中町火災予防条例の一部改正について

町長提出議案
工事請負契約の締結について ・歴史民俗資料館解体工事
工事請負契約の締結について ・府中東小学校校舎・屋内運動場改修工事
議員提出議案
地方財政の充実・強化に関する意見書

◆賛否の分かれた議案

※○：賛成、×：反対、欠：欠席、議長は裁決に加わりません。

議案	インボイス制度の実施延期を求める意見書																	
結果	川上	宮本	西山	狩野	坂田	田中	山口	二見	梶川	西	寺尾	力山	三宅	齋藤	益田	橋井	児玉	木田
可決	○	○	×	○	○	○	○	○	議長	○	×	○	○	○	×	×	○	欠

5月臨時会

補正予算を可決

―物価高騰対策など―

令和5年第2回臨時会を5月16日に開催し、電気・ガス・食料品等の価格高騰対策など2事業を計上した令和5年度一般会計補正予算議案1件の審議を行い、原案どおり可決しました。

住民税非課税世帯等への 支援給付金の給付

1億5594万円

物価高騰が続く中での生活・暮らしの支援として、令和5年度の住民税非課税世帯等に対して1世帯当たり3万円を給付します。

【主な質疑】

問 国の資料では、低所得支援事業枠分と推奨事業枠分がある。今回は低所得支援事業枠分ということか。

答 指摘のとおり、今回は低所得支援事業枠分。推奨事業枠分は、6月定例会で議案提出できるよう準備を進めている。



環境センターで使用する フォークリフトの更新

556万円

フォークリフト1台を更新します。



【主な質疑】

問 安全面に支障が生じたため、緊急的に更新することだが、他の車両の状況は。

答 専門業者等による点検を実施し、安全面に支障がないことを確認している。

町政のここが聞きたい

一般質問

町行政全般に対し、16人の議員が17件の一般質問を提出し、町執行部の所信をたどしました。

※一般質問とは：定例会の本会議で、議員が町長などに対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、報告や説明を求めることをいいます。

- | | |
|---|--|
| <p>P4 西山 優 議員
グローバル教育の現状は</p> <p>P5 木田 圭司 議員
緑ヶ丘中学校の施設・設備の充実について
狩野 雄二 議員
通学路の安全への取り組みについて</p> <p>P6 力山 彰 議員
住んでよかった、住んでみたいまちづくりについて
川上 翔一郎 議員
小・中学校の安全対策の現状について</p> <p>P7 齋藤 昇 議員
若年層の投票率の向上について
益田 芳子 議員
がん患者支援と補正具購入費の助成を</p> <p>P8 山口 晃司 議員
ペアレントトレーニングの取り組みについて
橋井 肇 議員
自転車利用者の安全対策について</p> | <p>P9 田中 伸武 議員
「府中町ゼロカーボンシティ宣言」について
三宅 健治 議員
健診（検診）について</p> <p>P10 二見 伸吾 議員
マイナンバーと医療DXについて
児玉 利典 議員
倒木の恐れのある公園内の樹木及び街路樹について</p> <p>P11 西 友幸 議員
市街化区域と市街化調整区域の区分見直しについて
宮本 彰 議員
デマンドタクシーの本運行後の利用状況について</p> <p>P12 寺尾 光司 議員
空城山公園アスレチック遊具の早期復旧を（公園整備計画について）</p> |
|---|--|

答 第2次府中町教育振興計画において、学校教育の重点施策としてグローバル教育を推進しています。
小中学校において、外国語指導助手（ALT）と教員がチームとなり、コミュニケーション能力の育成など、

問 今年5月、広島でG7サミットが開催されました。各国首脳が広島に集い、国際社会の重要な課題について話し合う姿を、子どもたちも間近で見聞きし、世界のつながりを経験する良い機会となりました。
グローバル教育は、世界規模で物事を考えるきっかけとなると思いますが、取り組みの現状を伺います。



ALTとの交流で英語に慣れ親しむ

一人ひとりに応じた指導を進めるほか、英語での校内放送やALTとの交流により、日常的に英語に触れ、慣れ親しめるよう、各校が工夫したプログラムを実施しています。
また、国際科のある安芸府中高校とも積極的に連携を進めており、平和公園での英語紙芝居の披露、留学生との文化交流に加え、今年度は英語交流会「グローバル・キャンプ」の開催も計画しています。今後、広い視野を持ち他者と協働する能力を持ったグローバル社会に挑戦する児童生徒の育成を目指し取り組んでいきます。



にしやま まさる 西山 優 議員

問 グローバル教育の現状は
答 重点施策として取り組む





外壁改修を予定している緑ヶ丘中学校

問 府中緑ヶ丘中学校は、築後40年以上が経過し施設・設備の老朽化が進んでいます。

また、公共施設の維持保全計画でも、内装・外装ともに劣化度の評価が耐用年数を超えたd評価以下となつ

ています。

生徒が安心して、学校生活を送り、十分な教育効果を上げるためには施設・設備面の充実も必要です。整備に対する考えは。

答 現在、各公共施設の長寿命化を図るため、

施設の外装改修を優先して進めており、府中緑ヶ丘中学校は、来年度に校舎、管理教室棟の屋根・外壁改修を予定しています。

また内装については、平成27年度に耐震化工事と合わせたトイレ改修、平成28年度に普通教室の空調設備改修を実施しました。教室の扉についても毎年度予算を確保し、計画的に更新しているところで

大規模な改修は、現時点で計画していませんが、同様に耐用年数を超えて老朽化が進んでいる南小、東小、北小など他の施設の状況や、将来の財政状況等を勘案しながら、引き続き教育環境の整備を進めていきたいと考えます。



木田 圭司 議員

問 緑中の施設・設備の充実は

答 外壁等の改修を予定



かの ゆうじ 議員

問 通学路の安全対策は

答 危険箇所を早期発見



危険箇所を抽出し対策を実施

クと接触した事故でした。

問 PTAからの安全対策の要望件数と実施割合の推移は。

また、対策が困難な場合の対応、他にも対策が必要な場所を調査し改善する取り組みは。

るように通学路の安全確保が図られています。登下校中の児童・生徒の事故件数と状況は。

答 学校から報告があった事故件数は、平成30年度、令和2年度、令和3年度、令和4年度にそれぞれ1件で、道路を横断中に車やバイ

答 要望件数は令和4年度51件、令和3年度52件、令和2年度26件で、対策実施割合（一部実施含む）は、令和4年度47%、令和3年度37%、令和2年度38%です。

対策が困難な場合は、代替方法を検討しながら安全対策を行っています。道路パトロール等の際に、危険箇所を早期発見し、改善に努めたいと考えます。



りきやま あきら 議員
力山 彰

問

まちづくりの成果と今後は

答

総合計画を着実に推進する



問 平成27年に第4次総合計画を策定してから8年が経過しました。これまでの成果とこれからのまちづくりについて伺います。

答 計画の前期（平成28年度～令和2年度）では、多くの取り組みで成果を上げたものと評価しています。また、令和3年度～7年度の後期は、前期評価で表面化した課題への対応を盛り込んだ計画改定を実施し、現在取り組んでいるところ です。

計画の堅実な推進により、目標人口の達成が視野に入っていることや、民間企業リサーチで高評価を得たことなどから、これまで順調に推移していると分析しています。



残り2年余りとなった第4次総合計画

問 計画策定後の防災減災対策と、町民への啓発活動の状況は。

答 計画前期は、避難生活必需品の備蓄や災害

今後、計画に掲げた施策を着実に実施し、「住んでよかった、住んでみたいまちづくり」を進めます。

用備品整備に対する補助などを実施しました。後期は、平成30年7月豪雨災害の経験を基に、避難施設への防災備蓄倉庫整備やWebハザードマップによる周知など、前期の約5倍の事業費を計上し、「災害に強いまちづくり」を進めています。



かわかみ しょういちろう 議員
川上 翔一郎

問

小・中学校の安全対策は

答

設備・体制の両面から対応



問 登下校中の不審者事案に対して、保護者から不安の声を聞きます。保護者、PTA、地域とどのように連携し体制をとっていますか。

答 日々の登下校では、町内会や民生委員、児童委員などの地域の見守り隊、交通安全推進隊、PTA等の協力を得た見守りと、町の生活安全相談員によるパトロールが行われています。また緊急時には駆け込むことができる「こども110番の家」もあります。不審者情報が入った時は、関係部署・機関が連携して情報提供しています。

問 不審者の学校への侵入を防ぐための対策は。



各校で不審者に対する訓練を実施

対応を行います。

問 防犯対策の訓練状況は。

答 各学校2カ所ずつ防犯カメラを設置しています。また、各校が作成している危機管理マニュアルをもとに、来訪者の受付設置、声掛け等を行います。不審者と確認したときは、児童生徒の命を守る避難誘導を行うとともに、警察に一報するなどの

答 不審者に対する避難訓練を各学校で行っています。毎回、不審者が侵入する想定を変えながら、当事者意識を持って臨めるようにしています。



選挙で使用する機材を使った模擬投票

問 次の世代を担う若者が社会や政治への関心を持つことは非常に大切なことであり、若年層の投票率向上が急務だと考えます。町の取り組みの現状は。

答 投票しやすい環境の整備として、イオンモール広島府中に期日前投票所を設置しています。また、投票所入場券を、期日前投票の開始日までに、世帯ごとでなく選挙人一人ひとりに送付するよう変更しました。

や、県外に進学した大学生等が投票しやすいよう、不在者投票用紙請求手続きのオンライン受付などを行っています。

また、投票率向上の中長期的な取り組みとして、町内の学校で、政治や選挙などを学ぶタイミングに合わせ、出前講座を実施しています。講座では、実際の投票箱や記載台を使用して模擬投票を行い、投票を身近に感じることができま。

その他にも、18歳になり選挙人名簿に登録された人へ、お祝いメッセージと啓発冊子を送付するなどの取り組みを行っています。今後も関係機関と連携し、投票率向上に向けた取り組みを進めたいと考えます。



さいとう のぼる 議員

答 関係機関と連携し取り組み

問 若者の投票率向上への対策



問 男女ともに生涯のうちで2人に1人はがんになるとされています。治療技術の進歩により、がん治療をしながら社会生活を続けている人も多く、支援が重要と考えます。

特に進学、就職、結婚や出産といった人生の転機を迎える、15歳

答 医療機関において、相談支援センターを設

から39歳までの年齢層（AYA世代）でがんとなった場合は、将来への不安や孤独を感じたり、子育てと治療の両立に苦労することも少なくありません。AYA世代の支援について町の考えは。



がん患者のアピアランス（外見）ケア

問 がん治療による外見変化を補完し、患者の生活の質の向上を図る「アピアランス（外見ケア）」として、医療用ウィッグや人工乳房などの補正具があります。助成の考えは。

答 県が実施している医療用ウィッグの購入費助成を周知するとともに、町においても助成事業の研究を進めます。



ますだ よしこ 議員

答 相談支援と制度周知を行う

問 がん患者支援と助成は





山口 晃司 議員

問 ペアレントトレーニングは

答 今後新規事業として検討



問 10代での発症も多いとされる精神障害（精神疾患）の早期発見・治療や、児童の約8・8%に可能性があるとされる発達障害への支援には、家族の理解と協力が必要と考えます。家族に対する支援の必要性をどう認識していますか。

答 まず乳幼児期においては、ネウボラふちゅうで健診や定期的な面談等を通じて、お子さんの成長に応じた支援を、保護者と相談しながら進めています。また、家族への支援としては、子ども家庭総合支援拠点の専門職員が定期的に訪問するなど、継続的な支援を行っています。



ペアレントトレーニングで家族を支援

問 発達障害のある子どもを持つ保護者を対象にした「ペアレントトレーニング」という人気事業があります。町で取り組む考えは。

答 ペアレントトレーニングは、グループワークなどを通して、健全な親子関係の形成や、

同じ悩みや不安を抱える保護者同士の横のつながりの構築を支援するものです。町では実施していませんが、次期子ども子育て支援事業計画において、他の新規事業とともに効果的に事業を進めていけるよう検討します。



橋井 肇 議員

問 自転車利用者の安全対策は

答 効果的な周知啓発を実施



問 ヘルメットを着用していない自転車利用者の死亡事故が多く発生しています。令和5年4月1日から、改正道路交通法が施行され、全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となりました。

答 自転車の事故や危険運転を防止するため、町としてどのように取り組んでいますか。

マナーを理解できるように、新1年生への交通安全教室、3、4年生の自転車教室を実施しています。

問 ヘルメット着用の必要性を、より積極的に周知啓発する必要がありますが、町の考えは。

答 入園・入学時の交通安全教室の際に児童の保護者に向けたチラシ配布を行う予定です。また、高齢者交通安全教室でも周知を行い、啓発用の幟を町内主要道路等に設置します。今後もより効果的な周知について、調査研究を続けていきます。

答 交通安全週間や祭りなどのイベント時における啓発チラシの配布、生活安全委員によるパトロール、広報紙、ホームページでの啓発を行っています。また、新たな取り組みとして、向洋北口駐輪場に啓発用の幟を設置しました。児童が交通ルール、



幟やチラシで周知啓発



たなか のぶたけ 議員
田中 伸武

問 脱炭素の取り組みは

答 町の特性を踏まえ削減



ます。

問 府中町の特性や課題をどうみるか。

答 排出量のうち、産業部門が約8割を占めています。課題としては、排出量が多い産業部門の削減が重要と考えます。また、コンパクトで人口密度の高い特性を踏まえて環境施策に取り組みます。

問 府中町ゼロカーボンシティ宣言の狙いと位置づけは。

答 「2050年カーボンニュートラル」に呼応し、町の取り組みを加速するため宣言しました。第4次総合計画の「低炭素型のまちづくりの推進」の単位施策という位置づけです。

問 これまでの低炭素、省エネ関連の取り組みと評価、当面の計画は。

答 森林整備事業やイベントなどによる意識啓発により、脱炭素、省エネに努めてきました。個人向け補助制度を令和6年1月には開始予定です。間伐事業についても加速化していきたい

◆カーボンニュートラル：二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、実質的にゼロにすること。

その他の質問

・市街化区域を調整区域に編入する「逆線引き」について



みやけ けんじ 議員
三宅 健治

問 町が行う検診・健診の目的

答 健やかに過ごすため活用

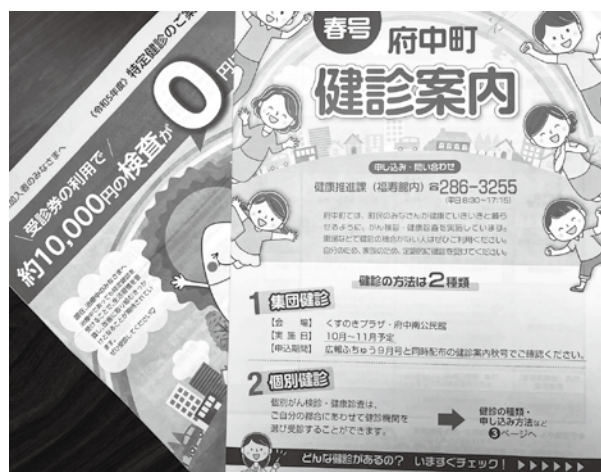


問 町が実施している検診及び健診はどのようなものがありますか。

答 町では、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がんの検診、生活習慣病の発症や重症化予防のための特定健診、生活習慣病の早期発見、介護予防のための長寿健診を実施しています。町民の皆さんに、できるだけ元気な人生を過ごしていただくためです。

問 町の人間ドック費用助成制度の実績は。

答 30歳以上の府中町国民健康保険加入者及び後期高齢者医療制度の加入者を対象に2万1千円の助成を行っています。



健やかな人生のために定期的な受診を

コロナ禍の令和2年度は、定員を大きく下回りましたが、令和3年度は、国民健康保険の受診者が、定員590人に対して433人、後期高齢者医療制度の受診者が、定員140人に対して120人と回復しました。令和4年度は、国民健康保険の受診者は、定員500人に対して435人、後期高齢者医療制度の受診者は、定員140人に対して143人と増えています。

長い人生を安心して健やかに過ごすために、定期的な人間ドックの受診をお勧めしています。



ふたみ しんご 議員

問 国保証廃止への対応は

答 保険診療できるよう取り組む



令和6年秋に保険証廃止へ

問 令和6年秋に保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化する法律が今年6月に成立しました。カードをなくした人や取得していない人には、保険証に代わる資格確認書が発行されるということです

が、申請が必要です。カードのあるなしに関わらず、保険診療が受けられるのが当然と考えますが、広島県とともに国民健康保険者である町としての対策は。

答 資格確認書は、マイナンバーカードの紛失や未取得などの理由により、オンライン資格確認を受けることができない人も、保険診療が受診できるよう配慮するため、保険者が交付するものです。交付について、まだ詳しい内容、取り扱いが示されていないため、詳細は不明ですが、国の動向を踏まえつつ、広島県全体で検討課題を出して対応案を検討することとしています。

国民健康保険等の被保険者が切れ目なく保険医療を受診できるよう、広報紙、ホームページ等で制度の周知を進めるとともに、申請を促す仕組みの構築を含めて検討し、課題解決に取り組んでいきたいと考えます。



こだま としのり 議員

問 街路樹などの倒木対策は

答 定期点検・緊急点検を実施



問 公園の樹木や街路樹は、環境や景観の向上のための重要な役割を果たしています。

一方、全国で倒木による事故が立て続けに報告されており、樹木の適切な点検・管理の実施が重要だと考えますが、町における対応状況は。

問 点検結果と異常があった場合の対応は。

答 公園樹木の緊急点検の結果、2力所の公園

定作業前に目視による枝枯れや腐食等の有無を点検しています。

で枝の撤去を行い、1力所の公園で危険性が疑われる木を1本撤去しました。街路樹は、点検の際に異常があれば、随時、部分撤去などの対応を実施しています。

答 公園での倒木事故の報道を受け、令和5年5月に、樹木のあるすべての公園（42力所）で目視及び打音検査による樹木の緊急点検を実施しました。

また、街路樹は町内道路13路線で、合計約970本の高木が植えられており、樹木の種類に応じて年1回から2回の剪定を実施しています。また、この剪



公園樹木を緊急点検し対策を実施

問 広島県は、市街化区域内の土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）を段階的に市街化調整区域に編入（「逆線引き」）するとしています。将来的な土地利用に関する町の取り組みとの関連と、進捗状況を伺います。



広島県が進める逆線引きの取り組み

答 町では、令和4年度から「府中町立地適正化計画」の策定に着手し、居住誘導区域や都市機能誘導区域などの設定について、広島県と協議を進めています。

また、広島県は、災害リスクの高い区域における都市的利用を抑制し、災害リスクの低い区域へ居住を誘導する



にしともゆき 友幸 議員

問 土砂災害特別警戒区域は

答 同意を得て調整区域へ



みやもと あきら 宮本 彰 議員

問 うぐいす号の利用状況は

答 高齢者等の利用が増加



問 令和4年8月から本運行を開始した府中町デマンドタクシー「うぐいす号」のこれまでの8カ月間の利用状況（交通弱者別の利用数、運行収支と収支率）について伺います。

答 令和5年3月末までの延べ利用者は2619人で、その内、約8割が女性でした。また、利用者の約9割は、70歳以上の高齢者で、障がいのある方の利用は全体の約2割でした。

試験運行の結果を踏まえて、本運行からは乗り降りのしやすい5人乗りタクシーに変更したことで足の不自由な人や、高齢者の利用が増えています。運行収支は、令和5年3月末までの収入が

問 地域の声と今後の取り組み方は。

約47万円、経費は390万円で、収支率は約12%となっています。令和5年度以降は国庫補助金の採択事業となる予定で、収支は改善していく見込みです。

答 清水ヶ丘・桜ヶ丘町内会からは、安心して利用ができ、地域の重要な交通手段だという声を聞いています。

また、積極的なうぐいす号の利用が運行継続につながるのと周知も進めておられます。今後も町内会と連携し、サービスの向上と利用増進を図ります。



地域の新たな交通手段「うぐいす号」



寺尾 こうじ 議員

問 アスレチック遊具の復旧は

答 代替え施設を含めて検討



安全性の低下により利用を中止

問 鶴江公園（仮称）とチェリーゴード空城パークの整備内容と時期は。

答 鶴江公園（仮称）は、広島県が管理する府中大川河川敷への整備を計画しているもので、現在、県と協議を進めています。令和4年度

に実施した調査により、安全に公園として整備できることが確認できたため、令和5年度は、地域の皆さんの意見を踏まえつつ図面を作成し、令和6年度から工事着手する予定です。

チェリーゴード空城パークは、令和4年度に実施したアンケートで駐車場とアスレチック

問 チェリーゴード空城パークのアスレチック遊具の復旧・再整備は。

アの整備を求める意見が多かったことから、この結果を反映した整備を進める予定です。令和5年度は、関係団体等との調整を行い、令和6年度から工事着手予定です。

答 アスレチック遊具は、経年劣化で安全性が低下しており、12基のうち3基を利用中止しています。再整備を求める声が多くありますが、遊具と障害物とのスペースが不十分なことなどから、現在の位置での再整備は困難です。そのため別の場所への代替え施設の設置を含め検討します。



委員会レポート

3つの常任委員会（総務文教・厚生・建設）の活動状況を報告します。

- ◆ 3月定例会から6月定例会までの間、計8回の常任委員会を開催しました。
- ◆ 4年ぶりとなる常任委員会行政視察を5月に実施し、先進事例などを調査研究しました。

【行政視察（5月29日～31日）】



視察内容

- ・消防団の活動（愛知県碧南市）
- ・東京消防庁多摩航空センター、立川防災館防災体験（東京都立川市）
- ・安全安心な給食（東京都武蔵野市）

総務文教委員会

次期読書活動推進計画などを報告

◆第2回委員会（4月17日）

- 年度当初の児童生徒数について

【児童生徒数】4/6現在

（小学校）3208人
（中学校）1192人

◆第3回委員会（5月22日）

- 小学校におけるICT事業等の状況及びコロナ後の給食について（府中東小学校を現地踏査）。

◆第4回委員会（6月12日）

- 府中町子どもの読書活動推進計画について

【主な質問】

問 学校図書館の貸し出し冊数を目標達成するための取り組みは。

答 図書館POPコンテストなどの開催により目標冊数に近づけていきたいと考えている。

厚生委員会

環境基本計画の改定案などについて説明

◆第3回委員会（4月18日）

- 府中町第3次地域福祉計画及び府中町ごみ処理基本計画について。
- 令和5年度に予定している下水道事業会計の主要工事計画について。
- 下水道工事の工事請負変更契約締結について。

◆第4回委員会（5月8日）

- 府中町第2次環境基本計画の改定案について。

【主な質問】

問 計画で取り組む再生可能エネルギー設備導入促進の具体策は。

【主な質問】

答 今年度に補助制度を創設する。対象設備、補助金額等の詳細は、現在検討中。

◆第5回委員会（6月13日）

- 下水道工事の工事請負契約の締結について。

【行政視察（5月24日～26日）】



視察内容

- ・町田市バイオエネルギーセンター（東京都町田市）
- ・葉山浄化センター等整備・運営事業（神奈川県葉山町）
- ・藤沢、鎌倉観光のコロナ禍後の現状と対応（神奈川県藤沢市、鎌倉市）

【行政視察（5月8日～10日）】



視察内容

- ・ふじえだ型コンパクト+ネットワーク実現に向けた取組（静岡県藤枝市）
- ・インクルーシブ遊具（東京都港区など）
- ・冒険遊び場「羽根木プレーパーク」（東京都世田谷区）

建設委員会

令和5年度主要工事などについて説明

◆第2回委員会（4月19日）

- 令和5年度予定の主要工事計画について。

【主な質問】

問 日中交通量が多い文化橋の長寿命化工事が計画されているが、工事途中の交通規制などは。

答 舗装を行う場合は片側交互通行となる可能性はある。主に橋の下側の部分を補修するた

◆第3回委員会（6月14日）

- 道路改良工事（青崎25号線）の工事請負変更契約の締結について。
- 町内道路の維持補修にかかる工事請負契約の締結について。
- 道路改良工事（青崎25号線）の工事請負変更契約の締結について。

め通行に影響は無いと考える。

議会用語の基礎知識④

議会の権限と専決処分



◆議決

議会は議事機関（憲法第93条）としての役割をもっています。条例や予算、町長の提案した案件について議会が可否を決め、町長の意思を決めます。このような議会の意思決定を「議決」と呼び、議会のもつ権限のなかで最も本質的で基本的なものといわれています。

◆専決処分

町長が議会の議決に代わりに意思決定することを「専決処分」といいます。議会を招集する時間的余裕がない場合や、議会が委任した場合などに限って「専決処分」がされます。「議決」は議会の大切な権限ですから、できるだけ慎重に、かつ軽易な事案についてのみ「専決処分」すべきとされています。

議会の動き

4月

- 4日 議会報特別委員会
- 12日 議会報特別委員会
- 17日 総務文教委員会
- 18日 厚生委員会
- 19日 建設委員会

5月

- 8日 厚生委員会
- 8日～10日 建設委員会行政視察
- 16日 臨時会
- 22日 総務文教委員会
- 24日～26日 厚生委員会行政視察
- 29日～31日 総務文教委員会行政視察

6月

- 12日 総務文教委員会
- 13日 厚生委員会
- 14日 建設委員会
- 21日 議会運営委員会
- 22日 議会報特別委員会
- 23日～27日 6月定例会
- 27日 議会報特別委員会

お詫びと訂正

前号（第169号）の記事に誤りがありました。
お詫びして訂正します。
・12ページ「田中議員の一般質問」1段目8行目（誤）事業推進への誘導支援（正）事業推進への誘導支援

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は
9月上旬の予定です。

事前申し込みは
不要です。

5月9日

岐阜県各務原市議会
・平成30年7月豪雨
災害からの復旧と
今後の整備について



5月17日

北海道中標津町議会
・ネウボラふちゅう
について



7月4日

兵庫県稲美町議会
・府中町くらしごと
自立応援センター
について
[くらフレ]



他議会からの行政視察

町の先進的な取り組みなどについて視察がありました。

表紙の紹介



6月18日に府中公民館大ホールで「山田十二神祇第一回公演」が行われました。山田十二神祇は、山田地区に古くから伝わる神楽で、昭和の中頃に途絶えていましたが、平成に入り復活。現在は神楽に興味のある町内の子ども・保護者が中心となって演じています。

編集後記

この「議会だより」は、議員から選ばれた編集委員6人と議会事務局が力をあわせて作っています。年4回の定例会の始まる直前に、編集委員会を開き発刊計画の概略を確認し、各々の執筆分担を決定。

議会が終わると委員が各々原稿を書き、事務局がそれをまとめます。原稿は委員全員で読み合わせて、意見を出し合いより伝わりやすい文言に修正。印刷所に原稿を送り、約一週間で初校が届きますので再び推敲します。

表紙の写真は委員が撮影。一般質問に添える写真・イラストも委員が選定しますが、編集委員会で差し替えることも。一号につき編集委員会を4回もち、分かりやすく伝えられるよう努力しています。隅から隅まで読んでいただくと嬉しい。

（二見 伸吾）